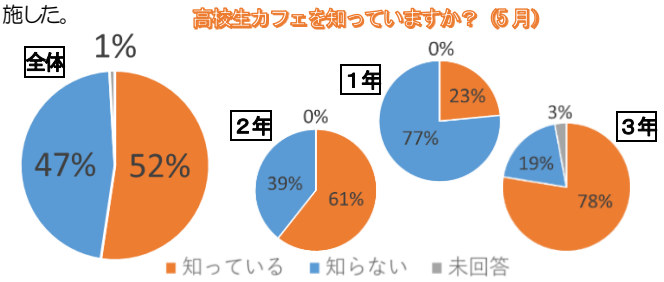
高校生カフェで郡高をPR

はじめに

郡上高校食品流通科では、１次産業の「栽培」・２次産業の「加工」・３次産業の「流通」を学習の３本柱とし、６次産業化を目指している。「流通」は生産物の販売を行っているが、地域との関わりやサービスの部分が十分に出来ていない。そこで、３年前より「高校生カフェ」を実施している。

目的の設定

過去の研究ではスマートフォンなどを用いた情報拡散を狙い中高生を顧客のターゲットとしていた。そのためSNS映えするメニューの開発や宣伝活動を行ってきたが、実際の認知度や課題点を知るために、全校生徒にアンケートを実施した。



全体の結果を見てみると52%の生徒が高校生カフェの活動を知っており、４年目の活動としては低いと感じた。しかし、学年別で見てみると１年生だけが非常に低いことが分かった。このことから、地域の中学生には高校生カフェの活動が広まっていないことが推測される。よって、ターゲットを引き続き中高生とし、今年度の研究の目的を以下のように設定した。

◆郡上高校のＰＲと共に高校生カフェの活動を広める
◆より質の高いサービスを提供できるよう経営について学ぶ

活動計画

目的により、以下のような活動計画を立てた。

カフェの実施にあたって　－　カフェの概要

カフェ名：「もこかふぇ」
ターゲット：SNSを利用する中高生
作ったもの：ロゴ、名刺、エプロン

ロゴの作成→

カフェの実施にあたって　－　製造・内装

SNS映えするメニューや内装を考案した。製造部門では郡上や郡上高校のＰＲになるよう、郡上味噌や郡上高校生産物を使用した。

７月　天の川カレー

11 月　壁面の飾り

カフェの実施にあたって　－　広報

広報活動として、SNSを用いた宣伝活動を主に行った（ツイッター、インスタグラム）。また、校内においてはクラス掲示のポスターや放送などでも宣伝を行った。

SNS（左）

校内掲示ポスター（右）

カフェの実施にあたって　－　会計

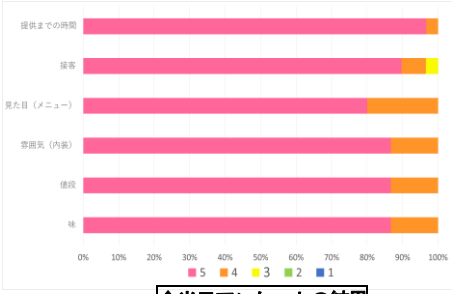
損益計算書

もこかふぇ　　平成30年10月29日　　単位：円

費用	金額	収益	金額
原材料	8,603	売上高	12,000
当期純利益	3,397		
	12,000		12,000

損益計算書の作成

結果・考察

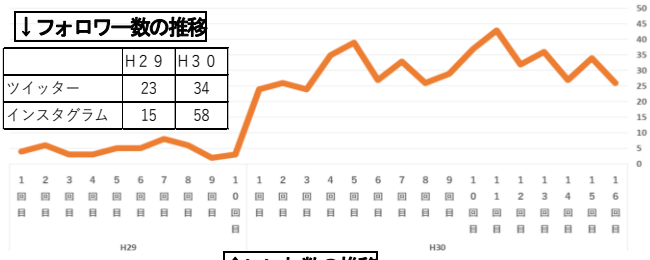


↑当日アンケートの結果

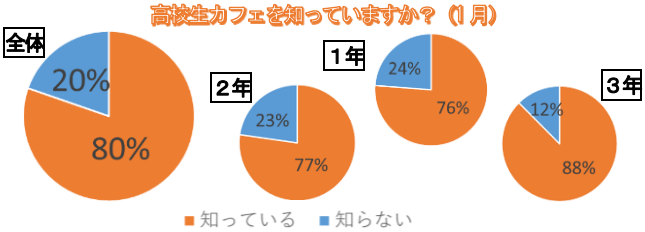
カフェ当日にアンケート調査を行った結果、８割以上のお客様が５段階の５（５が最高）を付けてくださった。この結果より、目的の「◆より質の高いサービスを提供できるよう経営について学ぶ」は達成できたと考えられる。

↓フォロワー数の推移

	H２９	H３０
ツイッター	23	34
インスタグラム	15	58



↑いいね数の推移



SNSのフォロワー数、いいね数を昨年と比較するとSNSを見ている人が増えており、また、第一回認知度アンケートと比較をすると認知度が上がったことも分かる。以上の結果から、SNSを利用した宣伝活動に効果があると考えられる。しかし、アンケートの対象は郡上高校生だけであることと、校内には独自の宣伝(校内放送やポスター)も行っているため、SNSの宣伝効果が強かったとは断言できないと考えた。よって、「◆郡上高校のＰＲと共に高校生カフェの活動を広める」については不十分であった。

今後の課題

考察より、以下の今後の課題を考えた。

◆広報活動の見直し →地域に活動を知ってもらうにはどうしたらよいか
◆計画を綿密に立てる→開催が出来ないことも考えて計画をたてる